

■ ひらか平鹿きそリンゴの基礎づくり

伊藤 謙吉

いとう けんきち

出身地 横手市（旧平鹿町）

1846年（弘化3年）～1908年（明治41年）

リンゴを導入し、害虫の大発生にもめげず、ひらか平鹿にリンゴを根付かせた。農業改良の指導者として活躍し、ナシ、カキ、モモなどの栽培を試みた。



年譜

- 1846年 ひらか横手市（旧平鹿町）に生まれる。旧姓・きゆうせい さとう佐藤。
- 1872年 ふまい腐米改良運動に参加し、成果をあげる。
- 1873年 秋田県第6大区6小区戸長こちょう しゅうにんに就任。
- 1875年 自力で東京や先進県からリンゴ・ナシ・カキ・モモの苗木なえぎを求め植栽しょくさい。
- 1889年 自費で農事改良講話会じたくを自宅で開く。
- 1898年 リンゴワタムシ大発生、懸命けんめいに防除ぼうじょ。
- 1903年 農事実習場を設置、農家後継者こうけいしゃの育成じんりょくに尽力。
- 1908年 ひらか横手市（旧平鹿町）で没ぼつ。62歳さい。